

2025年3月11日



SDGs行動宣言

日本いのちの花協会

わたしたちは、企業活動を通じて、社会課題の解決に取り組み、SDGs達成に貢献しています。

項目	関連するSDGsのゴール	SDGs達成に向けた取組
地域社会への貢献	    	・地域の事業者と連携し、地域住民向けの展示会やマルシェを開催し、売上金の一部をユニセフ・国境なき医師団などに寄付することで、医療・人道援助や復興支援に貢献します。 ・地域の人材の積極的な雇用や、施設周辺の継続的な清掃活動など、地域に貢献した活動を行います。 ・リーフレットやSNS等を通じて、認知症ケアに関する情報を幅広く発信し、都度アップデートすることで、地域の福祉に貢献します。
働きがいのある職場環境	  	・各種研修の継続的な受講支援など、職員の専門スキルの向上をサポートします。 ・女性管理職の登用を進め、性別を問わず、多様な人材が平等に活躍できる環境を整備しています。 ・有給休暇取得の推奨、時間外労働の削減など、職員のライフスタイルに応じた柔軟な勤務形態を採用します。
環境に配慮した取り組み	   	・電子カルテや業務連絡アプリを活用しペーパーレス化を図るなど、環境負荷軽減に努めます。 ・職員が使用するエプロンや布巾を、使い捨てから繰り返し使用できるものに切り替えるなど、廃棄物の削減に努めます。 ・社内の照明のLED化、こまめな消灯、エアコンの適正な温度管理など、CO2排出量削減に努めます。

「認知症があっても最期までのちの花を守る」を理念に、日本いのちの花協会は33年間高齢者医療とケアを提供してまいりました。

次のステップとして「尊厳ある認知症ケアと看取りケアを大変な仕事のまま次世代に残さない」という目標を立てています。

互いの限界を認め合い、持続可能な方法で尊厳が守られるように、市民教育と対話を軸とした医療・福祉・生活の融合を追求しています。



日本いのちの花協会

×



京都中央信用金庫

×

京都市



きょうとSDGs
ネットワーク